

医療安全ニュース 13 期/2 号

コスメティック・コンプライアンス

● 患者確認実態調査アンケート結果報告 2021/12 発行

1. 医療安全ニュース 12 期/5 号にて報告させていただきました上記報告「まとめ」の最初に、「フルネームで確認する事」といったルールのみでは形骸化し易く、**コスメティック・コンプライアンス（表面上は実施しているが実態は機能していない）の温床になるとの報告もあります。**と記載されています。

2. コスメティックとは美容的という意味ですが、続くコンプライアンスは法令遵守と和訳されることが多い単語です。医療界では服薬遵守の意味でコンプライアンスが使われることもあり、「あの患者さんコンプライアンスが悪いから注意して」などという場面では、患者さんが医師の指示した薬剤を正しく服薬出来ない可能性があることを指し注意を促すこともあります。

● ルールのみでは形骸化しやすい、とは？

1. 例えば「ダブルチェックする」というルールが存在しスタッフはそれを遵守しなければならない状況では、**ダブルチェックを頼む方も頼まれた方も非依存的に独立して実践する、という意識が大切**です。「忙しいから」「時間がないので」などで、「ちょっと目と耳貸して～」では正しくダブルチェックが実践されているとはいえませんが、ダブルチェックしていますか？との問いには「できています」と答えてしまう可能性が高くなります。ルールでなぜダブルチェックが必要と決められているのか？→**ヒューマンエラー（ヒトは誰でも間違える）を早期発見し事故に繋げない様にしなければ重大事故が発生するかもしれないリスクのある作業だ、という全職員の共通認識が必要**です。**表面上「できています」ではなく「本質を把握して実践する」ことが形骸化を防ぐことになります。**

● WAI と WAD

1. 心理学者 E.ホルナゲル教授他は医療の様な複雑系では日常業務を理解する上で、頭の中で考える仕事のやり方（WAI : work As Imagined）と実際の仕事のやり方（WAD : Work As Done）ができるだけ近いことが必要でありこれが乖離しているところで問題が発生しうる、と著しています。頭の中ではこういった手順で重要な作業を実施していくのイメージできていても、実際の現場では手順を省いて自分なりにやりやすくなりすると WAI と WAD の乖離が大きくなります。
2. **コスメティック・コンプライアンスが常態化している状況は、ある意味 WAI と WAD の乖離が常態化している状況とも捉えられ、いつ重大事故が発生してもおかしくない（医療現場ではあってはならない不安定な）状況ともいえます。**
3. **表向きには“できてます”としていますが、本質が把握されておらず実態は“できていない”という、コスメティック・コンプライアンスにならない様、患者安全が担保できる環境を全職員で醸成してまいりましょう。**



チームで患者安全を担保します



参考・引用

- 1) E Hollnagel, J Braithwaite, RL Wears. Resilient Health Care, Volume 2: The resilience of everyday clinical work-Ashgate.2015.
 - 2) 中島和江. レジリエンス・エンジニアリングの医療安全への応用. 手術医学.2015;36(3).p57-59.
- 図：いらすとや HP より.

職員の皆様へ：お読みになりましたら下記へサインをお願いします。院内ラウンド時に確認させていただきます。